

## 健康・生活科学委員会（第 25 期・第 5 回）議事要旨

- I 開催日時 令和 3 年 12 月 2 日（木）12:10～12:50
- II 会場 日本学術会議 5-B 会議室及びオンライン
- III 出席者 小松浩子、磯博康、熊谷日登美、住居広士、多久和典子、田辺新一、  
西村ユミ、宮地元彦、安村誠司、八谷寛、杉山久仁子
- 欠席者 山口香

### IV 議事概要

議事に先立って、各分科会からこれまでの活動報告と今後の予定について簡単に報告が行われた。ここで八谷委員から公開シンポジウム「幼小児期・若年期からの生活習慣予防」の紹介があった（会議後に動画の連絡あり）。

#### 1. シリーズシンポジウムの企画

磯委員から資料 1 をもとに、第 80 回日本公衆衛生学会総会（12 月 21 日）において公開シンポジウム「ポストコロナ時代に求められる公衆衛生人材」が開催されることが説明された。

さらに、小松委員長から資料 2 をもとに、来年 2 月または 3 月に「ポストコロナ時代に求められる看護系人材」を日本看護系大学協議会等と共催で実施するシンポジウムの準備状況について説明が行われた。指定発言については、他の委員会や第一部、第二部からの協力を検討。

シリーズ 3 回目以降については、人材育成を幅広くとらえて企画できるかどうかを検討する。

#### 2. 今後の委員会活動について

パンデミックと社会に関する連絡会議では磯先生が世話人をされており、健康・生活科学委員会として関連するテーマが多いことから、協力をして進めることが確認された。

以上